

赤十字活動資金の使い道

皆さまからのご寄付は、「災害救護活動」をはじめ、苦しんでいる人びとを救う様々な活動に大切にさせていただきます。

平時の備え



✓ 災害救護訓練

地震や豪雨など、様々な災害に備えて救護員の研修や各種関係機関と連携した救護訓練等に参加し、災害救護体制のさらなる強化を図ります。



✓ 災害救援物資の備蓄

災害時に速やかに配分するため、離島を含む県内37か所に毛布やタオルケット、緊急（日用品）セットなどを備蓄しています。



✓ ボランティアの育成

災害時にはもちろん、日頃から地域・学校で活躍するボランティアを育成し、地域のニーズに即した奉仕団活動の充実に努めます。

発災時



✓ 災害救援物資の配分

災害発生時には、備蓄している災害救援物資を被災された方々や避難所に速やかに届けます。



✓ 医療救護

被災地の医療ニーズに合わせ、救護所の設置や巡回診療を行います。

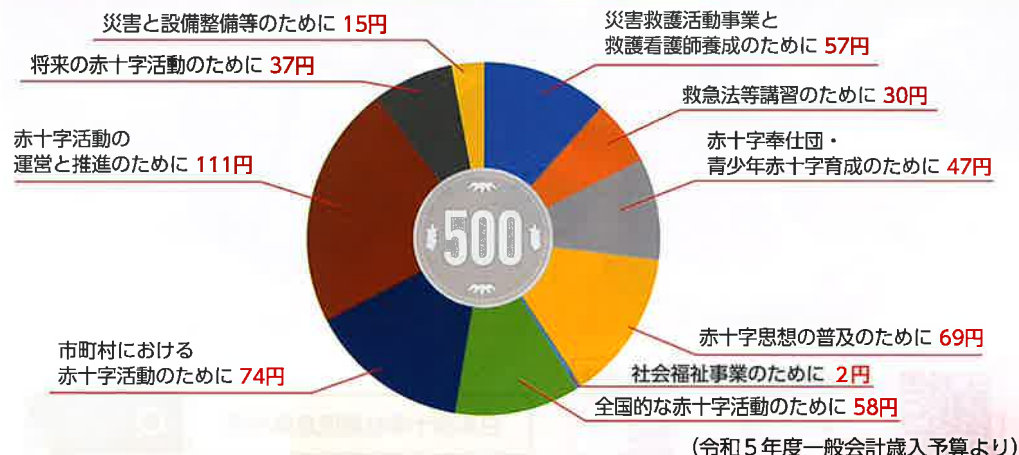


✓ こころのケア

災害はこころにも大きな傷を残してしまいます。少しでもこころが安まるように寄り添います。

皆さまからのご寄付は、次のように大切にさせていただきます

例えば500円のご協力なら…



未来のために

✓ 地域防災力の向上

✓ 子どもたちの防災事業

地域の自助・共助の力を高めるため、県内各地で防災セミナーや救急法等の講習を通じて、いのちを守る知識と技術を伝えています。

また子どもたちには災害から「大切ないのち」を守るための考え方や行動等を学ぶ防災教室を行っています。

様々なカリキュラムをご用意し、各種講習会や防災セミナー等を行っていますので、詳細につきましては表紙に記載されている連絡先にお問い合わせいただくか、当県支部WEBサイトをご覧ください。



持続的な赤十字の活動にご協力ください

あなたのご寄付は
 災害時には医療救護やこころのケア、
 救援物資配分など被災地のために。
 平時には救急法等の講習や防災セミナーの開催、
 青少年の育成など未来のために。
 カタチを変えて誰かの支えとなります。

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動のために、
 ご協力をよろしくお願いいたします。





災害に備える

赤十字の取り組み



▷ 持続的な赤十字の活動にご協力ください

令和4年度の Topics

- ▷ 130周年記念事業
- ▷ 各種イベント・行事への参加
- ▷ ラジオでの広報活動
- ▷ 聞いて効いて VOL.76
- ▷ 血液センターからのお知らせ

5月は
赤十字運動月間です。

活動資金へのご協力をお願いします。

持続的な赤十字の活動にご協力ください



日本赤十字社鹿児島県支部は、県民の皆さまからのご寄付により、災害救護活動をはじめ、様々な活動を行っております。持続的な活動を目指すため、ご協力よろしくお願いたします。

災害救護活動のために

災害時に備えるために、県や市、各防災機関主催の訓練への参加や、災害時に派遣される救護員の養成を図る研修などを行っています。

●鹿児島県支部救護員基礎研修



災害時に救護活動に従事する救護員を養成する研修を行いました。

●多数傷病者事故対応訓練



大規模施設で事故が起きたことを想定し、傷病者への対応や救急隊への引継ぎなど、各機関との連携を確認しました。

その他令和4年度参加訓練・実施研修一覧

鹿児島空港航空機事故対応総合訓練

九州八県支部合同災害救護訓練

鹿児島県総合防災訓練

こころのケア研修会

桜島火山爆発総合防災訓練
(住民避難訓練)

※令和4年12月31日現在

救急法等の講習のために

人のいのちを救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を普及するため、県民の皆さまを対象に講習を実施しています。

●救急法



県支部や県内各地での講習会の開催や、各地のイベント会場での救急法体験イベントを実施しました。

●防災・減災教育



「自助」「共助」の大切さを学び、地域の防災力を高めていただくため、町内会等を対象に防災セミナーを実施しました。

令和4年度各種講習会実施数 回数

救急法	147
水上安全法	12
健康生活支援講習	16
幼児安全法	63
防災セミナー	10

※令和4年12月31日現在



青少年赤十字活動 のために

未来を担う子どもたちが、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう優しさや思いやりの心を育むための活動を行っています。

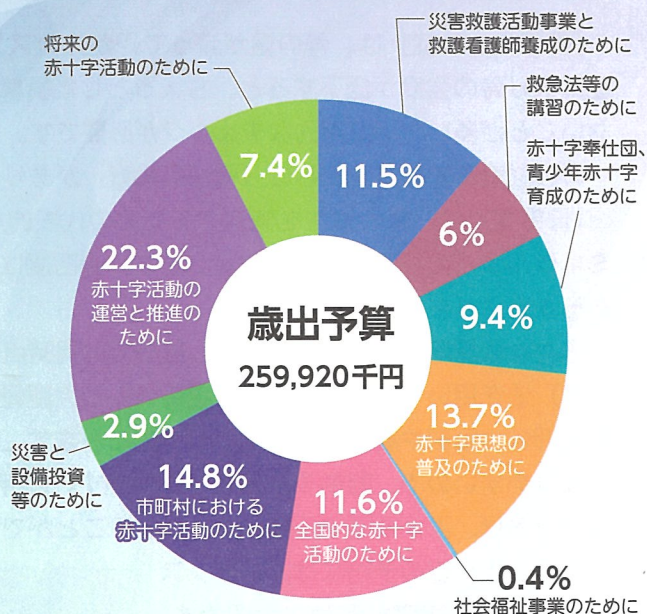
●リーダーシップ・トレーニング・センター



小、中、高校生が、リーダーとして必要な主体性や自主自立の心を身につけるプログラムに取り組みました。

令和5年度一般会計予算

皆さまからお寄せいただいた活動資金は、このように使わせていただきます



令和4年度の Topics

●130周年記念事業



令和4年9月9日(金)から11日(日)の3日間、『災害の記憶展』を開催しました。『災害の記憶展』では鹿児島県内の災害の写真や、被災された方々にお渡しする救援物資を展示しました。

●ラジオでの広報活動

毎週水曜日10:30からFM ぎんが(78.6MHz)の『Naoのしーず for the ふゅーちゃー♪』に、支部職員や赤十字奉仕団員が出演しています。
※FM78.6MHzまたはFM++(FM プラプラ)の無料アプリから視聴可能です。



●各種イベント・行事への参加



各地の福祉まつりをはじめとするイベントでは、救護物資の展示や非常炊き出しの実演、救急法の体験ができるブースを出展しました。

「骨粗しょう症」は、骨の量が減って骨がスカスカになり折れやすくなってしまいう病気です。骨粗しょう症により骨の強度が低下すると、ちょっとした衝撃で骨折してしまうことがあるにも関わらず、自覚症状がないことが多いため定期的なチェックが必要です。

骨の強度を知る方法として「骨密度検査」があります。

「骨密度」は、骨の強さを判定するための代表的な指標で、骨密度検査では、骨の中にカルシウムなどのミネラルがどの程度あるかを測定します。骨密度は若い人の骨密度の平均値と比べて自分の骨密度が何%であるか表されます。

様々な骨量測定法がありますが、当院では現時点では最も信頼性の高い骨量測定とされている DEXA（デキサ）法を用いています。腰椎（腰の骨）と大腿骨頸部（足の付け根の部分）を測定します。これらの骨折の大部分は転倒や軽微な外傷によって起こります。特に足の付け根の部分の骨折は要介護、寝たきりの原因となりやすいので、転倒予防対策が重要です。骨折を起こしやすい部位を直接測ることで、高い精度の骨密度が分かり、より重要で正確な診断をすることができます。仰向けで数分寝ているだけの検査です。

骨粗しょう症の予防には、バランスの良い食事や適度な運動が大切です。寝たきりにならないためのその予防も治療もまずは自分の骨量を知ることからです。定期的に測定をして骨量の変化を把握していきましょう。

(参考・引用：いいほね.jp)



献血 Q & A



Q. 献血は1年間で何回できるの？

A.

年間採血回数	献血の種類	400mL 献血	血しょう 献血	血小板 献血
	男性	3回以内	血小板献血1回を 2回と換算して 血しょう献血と合計で 24回以内	
	女性	2回以内		

PRESENT

赤十字オリジナルグッズを
5名様にプレゼント!!

何が届くかお楽しみ♪
たくさんのご応募お待ちしております!!



《応募先》

MAIL soshiki-rc@kagoshima.jrc.or.jp
FAX 099-258-7037
郵送 〒890-0064
鹿児島市鴨池新町1-5
日本赤十字社鹿児島県支部
「赤十字かごしま」プレゼント係

締切:令和5年8月31日消印有効

【必要事項】

- ①お名前
- ②郵便番号・住所
- ③電話番号
- ④年齢
- ⑤「赤十字かごしま」の入手先
- ⑥ご意見・ご感想など

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※本プレゼントの応募を通じてご提供いただきました個人情報は、本プレゼントの運営に関する以外目的で使用することはありません。



赤十字見学者募集!

皆さまからお寄せいただいたご寄付がどのように使われているか見学してみませんか? 詳細は左記連絡先へお問い合わせいただくか、ホームページ「施設見学」メニューをご覧ください。



令和5年度 「いすの木学級」学級生募集

- 一般教養講座として、それぞれの分野の専門家がさまざまな内容について分かりやすく解説します。また、自然や歴史・文化などについて学び、郷土に対する認識を深めることができます。
- 6月～10月の第2・4金曜日の午後2時～午後4時に日置市中央公民館で実施します。（7月と8月は第1・3金曜日です。10月は第1・4金曜日です。）
- 対象者は伊集院地域内に居住する方です。
年齢に関係なく受講することができます。受講料は無料です。
- 学習内容は以下のとおりです。講師の都合などにより一部変更になる場合があります。

◆ 申込方法 ◆

5月22日（月）までに、日置市中央公民館窓口で申し込んでください。

定員は50人です。応募者が多数の場合は抽選とします。

<申込先 日置市中央公民館 ☎099-273-1919 〒899-2592 日置市伊集院町郡1-100>

【開催日と学習内容】

月	日	曜	テーマ・講師名	学習内容
6	9	金	どうする温泉 ～戦国武将に愛された温泉～ 六三四（むさし）氏 (温泉ソムリエ協会 師範)	大河ドラマ「どうする家康」の主人公徳川家康をはじめ、戦国武将が愛した温泉は数多くあります。武将ゆかりの温泉と適応症、エピソードを紹介します。
	23	金	源氏物語早わかり講座 ～女君たちを中心に～ 三嶽 公子 氏 (NPO法人月の船自由大学学長)	2024年度NHK大河ドラマは「源氏物語」の作者 紫式部がモデルとのことです。世界一長い物語なので、美しく聡明で個性的な女君たちを紹介することで「源氏物語」のエッセンスを味わっていきます。
7	7	金	新聞っておもしろい ～こつをつかんで話し上手になろう～ 重島 修一 氏 (南日本新聞社日置支局長)	毎日、さまざまなニュースが掲載されている新聞。その効率的な読み方を学び、日頃の話題提供に役立ててください。過去の記事なども紹介します。
	21	金	伊集院町の古寺 (と日置市内の文化財) 渋谷 幸一 氏 (元日置市立日吉中学校長)	伊集院町の古寺、広濟寺や妙円寺を紹介します。併せて日置市内の仏教にかかわる文化財も紹介します。

月	日	曜	テーマ・講師名	学 習 内 容
8	4	金	暮らしから見える社会 宮下 正昭 氏 (前 鹿児島大学非常勤講師)	日々のニュースや身近な事象から、私たちの暮らす社会を改めて見つめてみたい、皆で考えてみたいと思います。
	18	金	郷土の歴史（調整中） 「生涯学習県民大学講座」と提携して実施 講師は調整中	「生涯学習県民大学講座」と提携して実施。五代友厚など鹿児島の偉人にまつわる歴史上の出来事を学びます。（調整中）
9	8	金	天璋院篤姫と島津斉彬の富国強兵策 野田 幸敬 氏 (島津家家臣団系図集著作者)	幕末の欧米列強のアジア植民地政策と島津斉彬の富国強兵策並びに篤姫の入輿について紹介します。
	22	金	島津義久生誕490年に当たって 瀧川 哲哉 氏 (社会教育課文化係主査)	島津四兄弟の長男義久生誕490年に当たり、義久の事跡とともに義久建立の雪窓院などのゆかりの史跡を紹介します。
10	6	金	町内の城（砦） 帖佐 秀人 氏 (伊集院歴史を語る会会長)	町内の城（砦）（壘）と歴史背景について考察します。
	27	金	国語物見遊山 宮元 一頼 氏 (鹿児島育英館中・高等学校校長)	国語の時間に習った教材、読書の時間に読んだ名作、こんな読み方、こんな考え方、学び直すと日本語のおもしろさに出合います。タイムトラベルして、昔の教室に行き、おもしろい発見をしてみませんか。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、延期または中止および内容などを変更する場合があります。



「高齢者学級」の学級生を募集します。多くの方の応募をお待ちしています。

- 1 目的 (1) 生涯を通して学ぶ楽しさを味わい、時代の変化に柔軟に対応できる能力を高める。
(2) 高齢期を豊かに生きるための知識や技能を身に付ける。
(3) 学級生相互の親睦を深め、日常生活における仲間づくりに努める。
- 2 開催期間 令和5年6月～令和6年2月
毎月第1木曜日（9：30～11：30）（11月、1月は第2木曜日）
- 3 場 所 日置市中央公民館1階 中ホール
- 4 募集予定人数 伊集院地域内に居住する65歳以上の方（募集定員は50人）
- 5 申込締切日 5月15日（月）まで
- 6 開催日と主な学習内容（※ 講師および学習内容などは、変更になることがあります。）

月	日	曜	テーマおよび講師名	学 習 内 容
6	1	木	開校式：学級運営について (実技)「幸せ一杯 笑って元気」 日本笑いヨガ協会認定ティーチャー吉田尚美 氏	「笑いヨガとは」、「笑いの効用」、「笑いヨガの実践」、「笑いヨガのすすめ」について実技を交えてお話しします。
7	6	木	(実技) 健康づくりのための運動方法 健康運動指導士 金澤怜史 氏	健康づくりの運動を効果的に行うためのポイントについて、実技指導を交えながら紹介します。
8	3	木	(講話) 島津氏発祥の地 寺島宗則並びにイギリス留学生 かごしまボランティアガイド 酒匂靖夫 氏	出水市野田郷は島津氏700年の歴史が始まった地。一方、都城市祝吉御殿は島津氏発祥の地とされています。また、寺島宗則の業績とイギリス留学生のたちの活躍についても紹介します。
9	7	木	(講話) 日本語のあれこれ 鹿児島育英館中学・高等学校校長 宮元一頼 氏	国語教育がどのように変わってきたのか。日本語自体がどう変化しているのか。いろいろな課題を考えてみましょう。国語世界には、笑えるネタがたくさんあります。大いに笑って学んでもらいます。
10	5	木	<研修視察> 見聞を広めよう	見聞を広めるために視察を行います。
11	9	木	(講話) 異文化交流で養うグローバル感覚 日置市国際交流員 イム アルム 氏	日本と韓国の違いについて、異文化交流の視点から紹介します。(内容は講話日の季節等によって変更もあります。)
12	7	木	(講話)自分らしく生きる～西郷どんの教え～ 伊集院幼稚園理事長 麦野 賦 氏	薩摩藩士の家に生まれ西南戦争で戦死。郷中教育の中で育ちながら、「敬天愛人」を生き抜いた西郷どんの生涯を紹介します。
1	11	木	(講話) 元気に声を出して 体と頭をきたえよう 日本朗読検定協会理事 餅田浩子 氏	口の体操・呼吸を意識して楽しく声を出して、群読に挑戦してみましょう。声を出すことが体と頭の健康に効果的だということを紹介します。
2	1	木	(講話)「楽しく歌おう 童謡・唱歌」 音楽研究家・リコーダー奏者 徳田豊志 氏 (閉校式) 1年を振り返って	懐かしい童謡や唱歌を歌い、若かりし頃(小・中学生の頃)を思い出してみましょう。

- 7 会費 原則として無料 ※ 材料費や研修視察の食事代などは、別途に経費が必要です。
- 8 申込場所および問い合わせ先
日置市中央公民館 電話 273-1919 〒899-2592 伊集院町郡 1-100
※ 新型コロナウイルス感染症予防のため、参加者はマスクの着用をお願いいたします。